

国際ロータリー第2640地区 中長期委員会 アンケート

実施時期 : 2016年12月13日～2017年 1月30日 アンケート協力 : 69クラブ → 63クラブ

質問1. ガバナー事務所(ガバナーエレクト事務所と兼用)の事務所と職員を固定化することについて

ア. 賛成である	32	イ. 反対である	22	ロ. その他	9
<p>●経費削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、事務所開設と維持にかかる費用を支出するよりも、固定化で必要以上のコストを抑制できる。 <p>●事務の効率性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務フローの理解度、習熟度が上がり、作業の効率化が図れる。 ・行事の流れがわかりやすい。慣れた人がいると安心。 ・記録充実、資料保管、継続性、ノウハウの蓄積、人材成長 <p>●ガバナー輩出クラブの負担減</p> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全に固定化ではなく、5年くらいで堺と和歌山で交代してもよいのでは。 ・会計の透明性 ・職員は英語のできる人が望ましい 		<p>●ガバナーや輩出クラブにとって不便であり、それらへの負担増となる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガバナー及び輩出クラブが事務所から遠いクラブでは、時間と経費がかかり、不平等となる。 ・サテライト事務所を置く場合、実質的なガバナー事務所と なってしまい、二重事務所で経費増になるのでは。 ・ガバナーと事務職員の意見疎通が図れない。 ・輩出クラブに連絡要員の職員雇用が必要となり、負担増 <p>●ガバナーの専決事項としてその判断に委ねるべき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガバナーにとって便利な場所が良い。 <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定化された事務職員の不正(会計処理は外部委託も検討) ・事務局の慣れ合いや、任せ過ぎになって問題が生じる。 ・過去のような過ちも危惧される ・事務機器などは引き継げばよい 		<p>●一長一短があり、どちらとも言えない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の固定化は事務運営委にとってプラス ・事務所固定化は地区運営の難しさが増し、良くない ・対面重視の打ち合わせとメール等の混合がスムーズと考える。 ・過去の事が懸念されるが、ガバナーに従います。 ・固定化すると決めてしまえば、不具合が生じた場合また固定化をやめると決めるのか？ (だれの責任で?)時代に合わせてその時々で 	



質問2. ガバナー事務所を固定化する場合、その場所について何所が良いと考えますか。

ア. 和歌山市内	27	イ. 和歌山市以外	5
(南大阪 ⑤・堺市内 ①・どこでも ①)			

質問3. 職員の人件費等を地区で負担することについて

ア. 賛成である	22	イ. 反対である	7	ロ. その他	3
<p>●地区内容の仕事となるので</p> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールに基づいて、費用が超過しないように。 		<p>●経費のムダ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット等ツールの活用により、遠方でもガバナー事務所の利用は可能。クラブが必要と判断するならば、クラブ負担で雇用すべき。 		<p>●臨機応変に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガバナー事務所の事務職員が必要であれば、出向する形をとれないか等、他の方法も検討 ・限られた予算内での対処を 	

・継続職員+ガバナー輩出クラブからの事務員で構成しては？
 ・ガバナー秘書的な事務員が必要と思われる。

・どちらがガバナー事務所かわからなくなる。(二重になる)

国際ロータリー第2640地区 中長期委員会 アンケート

実施時期 : 2016年12月13日～2017年 1月30日 アンケート協力 : 69クラブ → 63クラブ

質問4. 地区の役割として、①RIとの連絡・情報提供・各クラブの連絡調整・地区内親睦等に徹し、出来るだけ地区独自の事業を縮小し、地区の組織を簡素化していくべき

②地区の事業や地区組織は長年に亘って作り上げてきたものであり、出来るだけ従前の地区組織を変えずに事業を継続すべきである。

①	26	②	18	その他	14	(内 5 は無回答)
●分区の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ガバナー補佐に権限委譲する。 ・ガバナー公式訪問はガバナーの負担が大きすぎる。 IM合同としても十分対応可能 	●独自性を確保	<ul style="list-style-type: none"> ・地区事業を縮小することなく、但し各クラブロータリアンに分かりやすく理解できるように進めていただきたい。 	●どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動が基本であるが、減少している現状では地区の事業の参加で奉仕の機会を増すの必要 ・地区事業について、一部のクラブのみの事業となるのではなく、全クラブから支援されるよう改善すべき ・ロータリークラブを支援することを唯一の目的とする (ロータリー章典17. 10. 1) ・今後は地区事業や組織の見直しは必然的 但し、その要件として「ロータリーの理念や目的」「職業奉仕」「決議23-34」の徹底周知などが必要 	
●コンパクト化	<ul style="list-style-type: none"> ・地区事業を再評価した上で、縮小・簡素化を視野に入れて検討する必要がある。 ・地区事業の縮小ではなく、実施すべきではない。 	●簡素化も必要	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、ホテル使用を公共施設に。 ロータリー活動は自己負担の習慣化など。 経費削減にも努める 			
●モバイルの更なる活用を強化すべき						

質問5. その他、地区の事業・地区組織・地区運営全般について、ご意見・ご要望等がありましたら自由にお書き下さい。

○引き続き、地区よりご指導、ご支援をいただきながら、より良いクラブ運営を行って参りたいと考えております。

○いろいろとご苦労さまです。

○すべてをガラス張りにして、情報公開するように努力してほしいです。

○地区事業・地区組織・地区運営は、ガバナー(ガバナーエレクト)クラブにとって、大変だと思います。ガバナーや所属クラブの仕事、地区運営を分区の各クラブの皆さんと協力し合って、減らしていく必要があります。

○地区大会について 当クラブの会員が今年度2730地区大会に参加しました。プログラムは3日間あり、当地区でも行っている現況報告やRI会長代理歓迎晩餐会等行事のほか、一般会員が参加できるプログラムが多く、本大会後には一般会員が多数参加する会員交流大懇親パーティーがあり火花が上がるなど本当のお祭りのようだったとの事。当地区の地区大会も、多くの会員が参加したいと思う、人と人が交流できる大会にして頂きたい。

○ガバナーの裁量で事務所を決めてもいいし、それくらいの権限はガバナーが持ってもいいと思います。しかし、2640地区の大きな課題を考えると、地区の記録や資料の充実を図り、ノウハウを蓄積して、担当する事務の人材も成長を促し、地区活動を充実発展させていくことのほうが、2640地区には大切なのではないのでしょうか。そのように考えています。

○地区はRIの末端組織であり、RIの唯一の役員である。ガバナーによって運営されるべきであり、その全てはガバナーに委ねるべきである。

○会員と地区とRIの距離感が最近どんどん遠くなっているように思います。会員とRIの接合点が地区であれば、もっとその様な行動をとっていきべきだと思います。

地区上層部の採め事は勘弁願います。

最終決定に従います。

当クラブも会員減少等により、活動にも支障をきたしております。地区でのご指導を期待しております。

公平、公正な会計やお金の集め方など、信頼できる活動をお願いしたい。

国際ロータリー第2640地区 中長期委員会 アンケート

実施時期：2016年12月13日～2017年 1月30日 アンケート協力：69クラブ → 63クラブ

質問5. その他、地区の事業・地区組織・地区運営全般について、ご意見・ご要望等がありましたら自由にお書き下さい。

地区の役員は1本釣りではなく、分區・クラブで推薦するように。

地区の事業、委員長会議等は、交通条件の関係もあるが、大阪府から和歌山県の中間が好ましいと思う。

ORIの組織運営に従って、楽しくロータリーを自分のものとしましょう。

会員数も少なく、できるだけ負担がのしかからないコンパクトなRCを実現して下さい。

IMIはいつなくなったのか？採決の記憶がありません。会員減少で、各クラブでロータリーの魅力を告知できなくなっている現状では、IMの活動で地域に知名度を向上させたい。また、IMで奉仕活動の厚みを加えたい。

地区で活動するには広すぎる。1RCで活動するには負担と効果が限定される。IM単位で活動することが負担・効率等から適正化されると思います。

ガバナー事務所の開設・閉鎖に伴って、事務機器(コピー機、PC、通信機器などの固定資産)がどのように会計処理されているのか不明。レンタルであれば、事務所閉鎖時に終了となるが、購入した機器であれば固定資産であり、次期事務所ないしは次次期事務所に引き継ぐ、あるいは売却して収入計上するなどの処理がなされるのが適切であると思われる。事務消耗品の残部の処理についても不明。

どのような経理規定になっているのか不明。高額の会計が経年的に処理されていくのであるから、企業会計のような財務処理(事業活動収支、資金収支、貸借対照表、財務目録)とするのが適切であるとする。

特に、貸借対照表・財務目録の伴わない決算書は、不適切処理があっても見逃しやすい。会計処理ソフトが普及しているので、会計事務の負担は大きくならない。

時代の流れなどによって変える所があってもよいと思います。具体的には不明です。申し訳ありません・・・

昔のIMはなるべく復帰すべきだと思います。

OWCS程度の活動で満足・・・発展途上国に生活安定援助や飲み水確保の援助に地区単位で大きな力で取り組んではいかがでしょう。

米山記念奨学会活動の見直し・・・現状では発展している中国や韓国の留学生がほとんどで、時代も変わりつつあるので、今ここで一度考え直してはどうでしょうか。留学生一人にかかっている援助金で、貧しい生活をしている子供たちをどれだけ多く助けられるか考え直してほしい。

会計の透明化、事務処理のマニュアル化、事務の簡素化、地区事業の透明化、備品の整理。

ようやく良い方向に向かっていると感じる。混乱期の事業について修正すべき事業は意見を発信しながら良くしていくことが必要である。地区内の各クラブが同一方向、同一認識されることを望みます。

地区負担金の軽減を検討いただきたい。クラブ会費軽減をしていきたい為です。

地区大会も派手にならず経費を抑えて、会員負担を少なくしてください。

今後のRIの合理化の改革方針でクラブの経費削減に入っている現在、固定化は経費の増額につながり、結局は各クラブが負担しかねない。地区の経費削減にどのように考え協議していくかを中長期委員会でお願いしたい。

無駄な経費は削除して、全て各クラブ主導で運営を行うのが効果的である。地区運営は事業ではなく、クラブに対しての奉仕である。基本的に地区の運営をその時のガバナーの奉仕精神で決めていけばよい。

あくまでもガバナーの任期は1年短期である。クラブは永遠である。地区資金の次年度への繰越金は出来るだけなくす方向が望ましい。結局繰越金は各クラブからの資金の余剰金である。余剰金はクラブに還元すべき。

現在、会員が減ってきている状況でクラブが衰退していけば、地区もなくなるのではないかと。長年に亘って作り上げてきたものは各クラブの力量であり、地区ではない。地区の考え方を各クラブに押し付けるような事はあってはならない。今後RIの方針からして、各クラブ拡大、会員増強に進めていく中で、地区はもっと簡素化し、各クラブの為に地区へのリスクを高めてはいけないのではないかと。

○数年は地区組織を変更せず、地区主導の事業も必要と考え、地区には各クラブからの委員の多数の意向を期待します。また、会員の減少や高齢化に伴い、クラブ単独での事業は困難であるため、地区主導の事業があれば参加したいというクラブもあると思います。

○地区に於いて多くの委員会等があり、多くの方々にお世話を掛けておりますが、個々のクラブにはあまり理解されておられません。委員として出席している会員からも特に説明もありません。また、地区協議会等も長時間会議に参加している割には、クラブに持ち帰って報告する件が少なく、出席義務化しております。また、少数クラブの場合、同一の者が何度も伺いますので出席者を決めることも大変。地区から各クラブへの主旨主張が理解できる様をお願いします。

国際ロータリー第2640地区 中長期委員会 アンケート

実施時期：2016年12月13日～2017年1月30日 アンケート協力：69クラブ → 63クラブ

質問5. その他、地区の事業・地区組織・地区運営全般について、ご意見・ご要望等がありましたら自由にお書き下さい。

○正常化に向けての運営に感謝します。

○地区は各ROMの運営が適切かとか指導的立場であればよく、地区が率先して事業をしなくてよい。事業提案をして参加ROMを集めるとかでもよい。地区組織を複雑に大きくすべきではないし、今の状態では地区の活動が見えにくい。地区がもめた時でも、各ROMは正常に機能しロータリーの教義から逸脱することなく運営が行われていることを見れば、現地区のあり方を再考する必要な時期にあると考えます。

○事務の引き継ぎについて、3ヶ月から半年程度重複するように義務化した方がよいと思います。

○福井ガバナーがご苦労され地区の正常化が進みつつある現状を考えると、決して後戻りしてほしくない。ガバナーの選出方法も、現状を考えると推薦者を選挙によって選出する方法が妥当と考えます。くれぐれも私利私欲を目的としたガバナーが出現しないように、監視とチェック機能を持つ体制をお願いします。

○地区委員会の開催予定等、年間を通じての予定表の配布